

# 岡山・倉敷に並ぶ新都心を創る

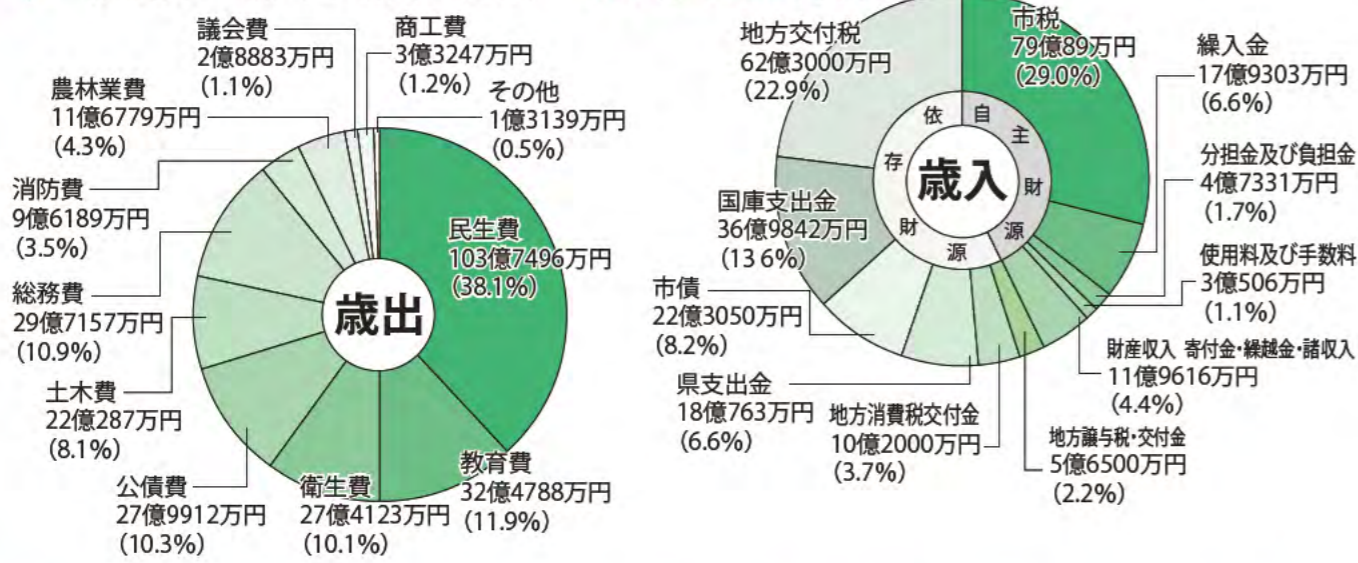
# 第2次総合計画・成長戦略スタート予算

平成28年度予算を「第2次総合計画・成長戦略スタート予算」とし、これから始まる第2次総合計画で掲げた全国屈指の福祉先駆都市の実現に向け、さまざまな分野において、積極的な市政運営を行ってまいります。

問い合わせ 財政課財政係（☎8228）



## ◆一般会計の歳入と歳出の総額 272億2000万円



## ◆市民一人当たりに使われるお金 合計 400,341円 ※3月1日現在の人口から算出

民生費	教育費	衛生費	公債費	土木費	総務費	消防費	農林業費	その他
福祉、介護保険、国民健康保険など	学校教育や生涯学習など	健康づくり、環境対策、ごみ処理など	市の借金の返済	道路・公園などの整備	国際交流、情報化、防災対策、選挙など	消火・救急活動、防災活動	農業・林業などの振興・育成	議会、商工業の育成、観光振興など
152,591円	47,769円	40,317円	41,168円	32,399円	43,705円	14,147円	17,175円	11,070円

## ◆一般会計・特別会計・公営企業会計別の予算額

区分	平成28年度	平成27年度	増減	前年度比
一般会計	272億2000万円	261億3000万円	10億9000万円	4.2%
特別会計	184億8100万円	182億4200万円	2億3900万円	1.3%
国民健康保険	84億6000万円	82億1000万円	2億5000万円	3.0%
後期高齢者医療	8億2400万円	7億2400万円	1億円	13.8%
介護保険	54億8800万円	54億3500万円	5300万円	1.0%
農業集落排水事業費	3億900万円	3億1900万円	-1000万円	-3.1%
公共下水道事業費	21億8600万円	22億3600万円	-5000万円	-2.2%
国民宿舎事業費	7億200万円	7億1300万円	-1100万円	-1.5%
総社駅南地区土地区画整理事業費	5億1200万円	6億500万円	-9300万円	-15.4%
公営企業会計	22億8939万円	22億8260万円	679万円	0.3%
水道事業	22億5550万円	21億7540万円	8010万円	3.7%
工業用水道事業	3389万円	1億720万円	-7331万円	-68.4%
合計	479億9039万円	466億5460万円	13億3579万円	2.9%

さまざまな新規事業を行うことによるものです。

市の借金である市債の償還は、約27億9912万円と前年度当初比で0.8%増加し、全体の10.3%を占めています。

一般会計に入ってくるお金の約3割を占める市税は、約79億89万円を見込んでいます。前年度当初予算と比べ約1億9917万円、率にして2.6%の増。企業誘致が進み、人口が増加したことに伴い、固定資産税や市民税の増収増加が見込まれることによるものです。そのほかの主な財源は、地方交付税や国からの補助金、市債の借入れ、財政調整基金などの基金（市の貯金）からの繰入金を充てています。

引き続き財政の健全化に努めつつ、人口や雇用が増加し、変化し続けている現状を踏まえ、全国屈指の福祉先駆都市の実現や、グランドデザイン改革など、総社流の政策を推し進めていきます。

一般会計と7つの特別会計、2つの公営企業会計（水道）の平成28年度当初予算が決まりました。一般会計の総額は272億2000万円と、前年度当初予算と比べ10億9000万円、率にして4.2%の増となり、過去2番目の予算規模となりました。特別会計の総額は、前年度当初比1.3%増の184億8100万円。水道関連の公営企業会計は、前年度当初比0.3%の増で、約22億8939万円。全会計の合計は約479億9039万円、前年度当初比2.9%の増となりました。

一般会計の額が増えた主な要因は、歳入確保のためのふるさと納税関連経費の拡大や低年金受給者に対する暫定的な給付金、待機児童解消に向けた保育所の新設や改築に対する補助、総社小学校の改築、市が掲げる『全国屈指の福祉先駆都市』の実現など、